

地質ニュース

昭和 50 年 9 月

第 253 号

1975

解 説	白嶺丸の情報処理装置……………中 条 純 輔…1
	筑波研究学園都市に建設される 工業技術院筑波研究センターの起工式を迎えて……………筑波計画本部…11
	地殻熱部の発足…………… 陶角馬 山 淳 治 愛三 陶角馬 山 淳 治 愛三……………27
海外事情	世界の石油ならびに天然ガスの埋蔵量と資源量……………嶋 崎 吉 彦…16
	ルプアルハリ砂漠横断記……………桑 形 久 夫…28
	中央アフリカ共和国の旅⑥……………小 村 幸 二 郎…42
	学会掲示板……………10
	地学と切手……………P. Q.41

編 集 地質調査所

表紙の写真

大阪層群の基底部

大阪の北方に位置する千里山丘陵は 鮮新～更新世の大阪層群の模式地として知られている。写真は千里山丘陵の島熊山付近で 基底の中新世神戸層群とその上に不整合にのる大阪層群である。
神戸層群は1～2mmの石英粒を含む砂岩 泥岩などで走向 N60°E ほぼ40°ESに傾斜する。大阪層群は石英斑岩の大礫のほか輝緑凝灰岩やチャートなどの基底礫層で ほぼ水平に神戸層群をおおっている。写真中央にみられる断層は走向N80°E 約50°ESに傾斜する正断層で大阪層群は350cmほどずれている。
大阪層群の基底は千里山丘陵では神戸層群 その他の地域では花崗岩類や古生層などであるが この写真のように基底礫層をもった顕著な不整合がみられることは稀である。(小村良二)

発行 株式会社 実業公報社